

会 議 録

1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会 第4回定例会

2 開 催 日 時 平成29年3月23日(木) 午後1時30分～午後4時30分

3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 1階 大ホール

4 出席者氏名 【公民館運営審議会委員】19名

額賀 敏行	平岡 憲子	本多 二三代	村上 淑子	石井 京子
松尾 玲子	青木 健	古藤田 憲之	元木 榮	三上 由美子
鈴木 正	清水 正夫	山田 治子	渡利 明	安藤 清康
澤邊 賢司	瓜田 栄一	菅原 興二	鶴岡 俊之	

【公民館長】16名

石井 一彦 (中央公民館)	関口 明 (八幡台公民館)
星野 隆弘 (富来田公民館)	高橋 栄二 (東清公民館)
江野澤 和彦 (岩根公民館)	原 敏美 (清見台公民館)
高橋 利幸 (鎌足公民館)	西嶋 久美子 (畑沢公民館)
小原 俊郎 (金田公民館)	若鍋 知幸 (岩根西公民館)
小川 恵市 (中郷公民館)	本多 豊 (西清川公民館)
露崎 善男 (富岡公民館)	石井 章 (波岡公民館)
伊藤 孝 (文京公民館)	篠原 和行 (桜井公民館)

【事務局職員】4名

松本 明子 (中央公民館副主幹)
齋藤 礼司郎 (中央公民館主査)
栗本 優 (中央公民館主事)
稲村 員代 (中央公民館社会教育指導員)

5 議題及び公開又は非公開の別 公開

議案第1号 平成28年度公民館事業実施結果について

- (1) 平成28年度公民館重点目標・施策に対する取組結果
- (2) 平成28年度木更津市公民館研究集会“木更津市の魅力再発見～食べもの・見どころ・子ども・若者～”実施結果
- (3) 各公民館の事業重点目標に対する取組・成果と課題

- 報告事項
- (1) 公民館使用料見直しの検討について
 - (2) 公共施設再配置計画について
 - (3) 各種委員から活動報告
 - (4) その他

6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、出席者数が2分の1以上に達した(20名の定員に対して19名の出席)ので、本会議が成立したこと、及び、本会議は公開制であることを報告。

平成28年度木更津市立公民館運営審議会第4回定例会を開会する。

<議案第1号 平成28年度公民館事業実施結果について>

山田 治子委員長： それでは、これより議事を進めさせていただきます。議案第1号「平成28年度公民館事業実施結果について」の審議を行います。最初に、「平成28年度公民館全体の重点目標・施策に対する取組結果と利用状況」について説明をお願いします。

つづいて、去る2月11日に中央公民館で開催された「木更津市公民館研究集会“木更津市の魅力再発見～食べもの・見どころ・子ども・若者～”」の実施結果についてお願いします。その後、「平成28年度各公民館主要事業の成果と課題」について、各公民館長より説明をお願いします。

なお、各公民館からの事業報告につきましては、3回に分けて審議したいと思いますので、中央公民館から資料の掲載順に5館ずつ(3回目は6館)お願いします。

また、各公民館の主要事業につきましては、地域の課題を踏まえて、住民と一緒に企画・運営したり、新しい工夫を取り入れるなど、特徴的な事業について説明をお願いします。

また、説明はいずれも簡潔をお願いします。では、まず「平成28年度の公民館全体の重点目標・施策に対する取組結果と利用状況について」説明をお願いします。

石井中央公民館長からの説明

山田 治子委員長： 続いて「木更津市公民館研究集会“木更津市の魅力再発見～食べもの・見どころ・子ども・若者～”」について説明をお願いします。

原清見台公民館長と実行委員長の古藤田委員からの説明

山田 治子委員長： 続いて「各公民館主要事業の成果と課題」について説明をお願いします。

各公民館長から3回に分けて説明

第1回（中央、富来田、岩根、鎌足、金田）

石井館長（中央）： 青少年教育事業では、ドキドキ子ども宿泊体験、わがまちたんけんぼんぽこラリー、中央キッズクラブ28の事業などを実施しました。今年度は、公民館まつりで、中央キッズクラブ28の学級生の親子にミニ縁日を、木更津第一中学校の生徒にはボランティアとして、公民館まつり全般にわたって、参加していただきました。地域課題については、中央市民講座で、「防災と地域コミュニティを考える ～地域の防災力を高めよう～」を開催し、開催前に企画実行委員を募り、6名の区長、民生委員を中心とした企画準備会を3回行いました。今年度は3回の講義の中で、防災についての地域の課題を検討する機会となりました。また、例年4月に行っている利用者懇談会は、「公民館使用料見直しの検討について」をテーマに1月にも実施し、説明と意見交換を行いました。

星野館長（富来田）： 家庭教育学級では、参加が少人数の利点を生かして、コミュニケーションを語り、交流を深める場となっています。健康教室では、富来田地域では高血圧の人が多いため、今年も血圧をテーマに実施しました。次年度も、地域への健康づくりとその啓発についての事業を実施していきたいと考えています。また、今年度動き始めた、まちづくり協議会では、富来田納涼大会、武田川コスモスフェスティバル、元旦マラソン、敬老の集いなどの地域活動を実施しています。また、富来田中生徒に、ボランティアに文化祭に協力いただき、地域の学校との連携を深めています。地域づくりを担える後継者づくりのために事業を精査していきます。

江野澤館長（岩根）： 地域課題について、市内でも高齢化率が高いため、市民講座では、地域の人がかもとも関心の高い、認知症を題材に認知症カフェの取り組みについて、既に行っている二ヶ所の職員に来てもらい、具体的な話を聞くことができました。平成27年度に発足した岩根東地区まちづくり協議会では、あいさつ運動を実施し、また、「いわねEASTふれあい祭り」では防災意識を高め、地域全体で自主防災について考えることができました。

高橋館長（鎌足）： 地域課題については、鎌足ふるさとたずね歩きについては、ちいさな物に視点を向け、地域のことを掘り下げていく内容です。家庭教育事業では、子どもと母親の仲間づくりの場として、どんぐり山の親子クラブを実施しました。また、お年寄りと、子どもたちと親の世代を交流する機会とする、鎌足アートサロンを実施しました。中高年層の事業では、鎌足桜学級の移動教室では、世代間交流をはかることができました。夕方から始める健康講座では、働いている世代を対象とした、参加しやすいように設定した講座です。文化祭では、小学生の発表、中学生の司会など、子どもからお

年寄りまで、一体的に運営しています。青少年健全育成では、凧作り・凧揚げ大会では、地域の人に協力していただき、地域ぐるみで事業を実施しています。

まちづくり協議会が12月に発足しました。地域づくりは公民館職員だけでは限界があり、地域の方々に公民館のサポーターになってもらうことが必要で、地域づくりを広げることができます。

小原館長（金田）： 海彦の学校では、5月の定例会のときにファーマーズクラブを立ち上げるということで説明をしました。今回はこの事業の説明をします。他の事業の詳細は、後で、資料をご覧ください。高齢化により、田んぼをしていた人ができなくなって、その土地で野菜作りをできないかということで、16人が参加しました。さつまいもと大豆作りに挑戦しました。大豆の収穫後は、その大豆を使って味噌作りを考えていましたが、虫にやられてしまって収穫できませんでした。次年度に向けて、やる気のある人を募集しています。

山田 治子委員長： ただいまの5館の公民館長からの報告に対して、質問や意見のある方はお願いいたします。

中央公民館では、利用者懇談会を行ったとのことですが、どんな質問が利用者の方から出たのでしょうか？

石井館長（中央）： 利用者の方から、「この時期に何で有料なのか、いくら料金を想定しているのか」、「公民館での活動は利用者の健康づくりに寄与している、年金で生活している利用者の楽しみを奪わないでほしい」、「受益者負担というが公民館活動になじまない」、「他の自治体で、公民館使用料が無料から有料になった場合、そこでのサークル活動はどう変化していったか、事例はないのか」、「この問題はそもそも論で考える必要があり、公民館活動は無料が原則で、地域活動には公民館が必要」、「市民に考える時間がほしい」とさまざまな意見が出た。また、「使う人が負担するのも仕方ない」との意見もありました。

山田 治子委員長： そのほかに特にならなければ、次の報告をお願いいたします。

第2回（中郷、富岡、文京、八幡台、東清）

小川館長（中郷）： 青少年教育教育の、中GO！オリエンテーリング大会では、中郷地区での児童が少ないため、他の地区からの参加や大人を巻き込んで、子どもといっしょに活動するオリエンテーリングを実施しました。子育て支援事業では、子育て世代が少なくなるなか孤立してしまう心配があるなか、家庭教育について自由に語る場を設け、個々の交流化が図られ、効果があった。連携を深め、次年度の活動を照らし合わせるために中郷地区行事調整会議を1月27日に行いました。地区の行事を確認しあって、効率的

に地域の中の子どもたちに向けて働きかけを行ないます。その成果は次年度の団体の活動にあらわれてくると思います。

露崎館長（富岡）： 道の駅が整備が進み地域が活性化しているいっぽう、富岡小が統合の対象になってしまいました。公民館では、小学生から高齢者まで幅広い年代に利用してもらっている。また、環境美化では花いっぱい運動を実施している。健康教室では、昨年度の高血圧の予防に加え、肝臓・腎臓についてのテーマを実施しました。

伊藤館長（文京）： サタデースクール事業では、住民会議のほか、桜井公民館と実施した第14回通学合宿では30人参加いたしました。公民館に泊まり、食事を作り、公民館から学校へ通った。また、今年度は木更津市からアルファ米の提供を受けて、炊いて食べることで、防災意識を高めてもらった。子育ての事業で3事業を実施し、みのり学級では、子育てが終わった母親の対象で、第2の自分の人生を考える学級として現在は自主的な運営がなされている。高齢者事業の文京ふれあい学級では、年度初めに準備会を実施し、1年間の計画を立てた。仲間づくり、健康づくりに重点を置いて、進めることができた。文京公民館は地区が広いので、まちづくり協議会設立のまとまった話はまだないが、機運を高めて行きたい。また、公民館活動と3つの学校行事が重複しないような活動が必要です。

関口館長（八幡台）： 家庭教育事業では、家庭教育学級のうち、木曜日に実施している1歳児から幼児と母親が参加する家庭教育学級では小さい子が館内を駆け回り、時には小学生が図書室で調べ学習を実施していて、公民館は高齢者しか使わないというイメージは、本公民館ではあたらなないと考えています。青少年事業では、サークル活動・地域の方にも協力いただき、「ほたる鑑賞の夕べ」等を実施している。また、住民の融和を進める事業として「四季の杜音楽祭」や「文化祭」を実施しました。また、まちづくり協議会の事務局として、防災をテーマとした学習を実施しました。3つの地域の連携を深めるお手伝いをしていきたいと考えています。

高橋館長（東清）： 青少年事業では、サタデースクール事業の申込みは、公民館での受付順とすると、親の都合で申込みができないことから、より公平に申し込んでもらうよう、学校で受付事務をしてもらうことになった。生き生き子ども地域促進活動では、小学生を対象に「こどもチャレンジ大会」を実施し、清川中ボランティアに協力してもらい、小学生と地域の大人との交流を図っています。市民の学習ニーズへの事業では、少ない負担で参加できる芸術鑑賞講座を実施し、参加者相互の交流を図っています。地域づくりにつながる事業については、地域の問題を多く提供する公民館だよりを11回発行しています。

山田 治子委員長： ただいまの5館の公民館長からの報告に対して、質問や意見のある方はお願いい

たします。

山田 治子委員長： 特にないようでしたら、次の報告をお願いいたします。

第3回（清見台、畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井）

原 館長(清見台)： 家庭教育や子育てに関する事業については、小中学校の保護者を対象に、「たんぽぽ家庭教育学級」の充実に努めています。また、未就学の1から3歳児を対象にした「清見台子育て広場このゆびとまれ」では、30数組のお母さん達の参加があり、ハロウィンパーティーや時期に応じたプログラムを取り入れ盛況であります。青少年事業の展開では、清見台小、南清小、太田中の児童生徒を対象にした通学合宿では、40数名の大勢の参加がありにぎやかな中での成功を収めました。とりわけ、地域の木更津高等専門学校の学生ボランティアの協力を得て、地域活動へ参加してもらい、異学年や家族から離れての集団生活により自立への成長を感じることができました。さらに、「清見台ボードゲーム倶楽部」では、家族でゲームをすることで、親子、家族、友だちとの交流が図れました。第23回清見台音楽祭では、地域の文化振興と交流の場としての成果が光った事業となりました。ふるさと意識の高揚を目指して、ふるさと講座や高齢者学級などで地域課題を捉えて興味を持ってする利用者を取り組みための活動をしていきたいと思っています。

西嶋公民館長(畑沢)： 5点の重点で展開してきました。ここでは、特に今年度重点としてきたことを説明します。市内共通の地域課題として取り組んでいる健康講座について説明いたします。「初心者のためのウォーキング講座」で運動の習慣化を狙いました。開催日を土曜日とし、初参加の方や就労層を対象に抽選しました。新規利用者と若年層の開拓を視野に入れ進めてきました。予防医学の知識を学ぶ講座「男の実践免疫サロン」では、昨年度までの参加者が女性が多く、男性が参加しにくい状況から、今年度は、対象を男性に絞り実施しました。少人数ではありますが、出席率が高く熱心に受講されている方が多かったです。若いお母さん方、若い女性を対象に「お母さんのための食育講座」では、食の分野での健康を考える講座です。体幹トレーニングを意識した「バレトン体験教室」を開催しました。4つの講座を実施した結果、講座終了後に、ウォーキンググループ「畑沢あるきたい」を結成し、役員、運営体制、規約等も決定し、早速3月から月1回公民館を拠点にウォーキングコースを自分達で開拓しながら歩くというグループが誕生しました。また、「バレトン体験教室」からは、「バレトンサークルプリエ」が誕生し、30人の定員のところキャンセル待ちがでるほどの盛況ぶりとなっています。健康講座シリーズとして一定の成果を収めました。来年度は地域の課題としての健康課題をさらに深め推し進めるために、目的別、世代別、男女別の方式を展開し、総合的健康講座を年間を通じて開催することを検討しています。それにより受講生の一人ひとりが、地域に健康意識の向上を広めるリーダー的存在として力を発

揮できるような成果を目的として展開していきたいと考えています。

若鍋公民館長(岩根西)： 開館30周年記念事業を10月30日に実施し盛大に行い成功裏に終わることができました。今年度は、新たに「写楽講座」、「健康講座ポールウォーキングMAP」の講座を実施し多くの参加者を得ています。新年度には、サークル化として立ち上げたいという声が挙がってきています。家庭教育の充実に関しては、本日午前中、千葉県教育委員の野口芳裕先生をお招きして教育講演会を開催し37名の方が参加し、子育てについての学習をしました。新年度も継続して頑張っていきます。

本多公民館長(西清川)： 5つに重点を置いて取り組んできました。家庭教育に関する学習機会の充実を図る事業については、2事業実施しています。特に、「お父さんと遊ぼう」事業では遊び場を通して、子どもと父親同士の交流が深まりました。この事業は子育てセンターゆりかもめとの共催事業のため、他市からの問い合わせがありました。課題は、経験の少ない参加者に運営に実質的な関わりを促していきたいと考えています。青少年育成事業については、5つ展開しました。成果として、公民館育成会議や公民館利用サークル、地域の方々の協力を得て学校ではできない休耕地を利用し、地域の大人を講師として迎えて田植えや凧揚げ等の文化活動を実施しています。来年度も実施したいと考えています。地区文化祭等を通じて地域文化の振興と交流を図り、地域の絆づくりを推進する事業では2事業実施しています。成果として、文化祭で住民参加による実行委員会を組織し事業の運営を行い、さらに交流の輪が広がりました。今後は、不参加の団体にも参加を呼びかけ、さらに交流の輪を広げていきたいと考えています。安心して暮らせる地域社会の構築の事業では、7事業実施しました。成果としては、各事業とも安定して事業運営がなされたことです。「西清川まちづくり協議会」では、月1回の防犯パトロールに実施。長期休業期間は学校、町内会にも呼びかけ、PTAの参加もあり、地域住民の横のつながりができました。子どもから大人までが災害のしくみを理解するための防災科学実験ショーを開催し防災意識の向上を高めることができました。今後は、「まちづくり協議会」の活動を地域に浸透させていくことが必要となっています。

石井公民館長(波岡)： 毎月高齢者の方々の利用が多いです。今年度の課題として、子育て支援事業に重点をおきました。子育て支援事業では、今でのお互いの交流を主とした内容から、学びにも重点を置いた内容を実施しました。子どもとのコミュニケーションの取り方などで、漠然としていたものに親の気づきがあり評判がよかったです。普段愛情のつもりでの声掛けが悪く、悪循環を生んでいることを学んだ。こういう学びが広がっていくことが大切なことだと思います。市民講座では、災時に備えて、ダンボールでトイレを作るなど実際に使えるようなよい内容でありました。さらに広く呼びかけて輪を広げていくことが今後の課題となっています。

現在サークルの利用が多く飽和状態となっています。各サークルが相互に良い関係で使用できるように調整をとっていきたいと考えています。地域コミュニティの充実と活性化に向けて、地域課題に共有化として、現在中学生の自転車の乗り方が悪いとの問題があがっています。今は、実際にどのような乗り方をしているのか情報を集め、それから具体策を考えていくという方向です。

篠原公民館長(桜井)： 家庭教育、子育ての充実は、地域の大きな課題でありますので、重点的に説明します。「桜井親子家庭教育学級」では、ボランティアの方が3～5名いらして「じいじ」「ばあば」としてサポートしていることが桜井親子家庭教育の特色であります。この学級からサークル化が図れました。思春期家庭教育学級では、様々な内容の学習が行われています。特に、子ども達の食、一人暮らしになった子どもの食についての話題が取り上げられていました。「気になる子どもを持つ親のための講座」と関連して悩みを打ち明けられる「桜井コミュニティカフェ」を開催しています。神奈川から転居してきた参加者もあり、木更津の公民館の良さをわかってもらえました。同じ問題を抱えるもの同士がコミュニケーションをとる場の提供をしていることは大きな成果です。ただ、回数を重ねることで同じ話題となってしまうので、悩みの解決の方向を示唆できるような人(講師)の存在も必要であると考えています。青少年事業の充実に向け、茶道体験、サイエンスラボラトリー、蕎麦道場、星空観察、クリスマス会を実施しました。青少年が公民館に足を運ぶ機会を増やすために、親子活動を増やすようにしました。

山田 治子委員長： ただいまの説明について質疑時間を設けます。ご質問・ご確認したいことがありましたら、お願いします・・・無いようです。

山田 治子委員長： それでは、全公民館から事業報告をしていただきましたので、全体を通してご意見等ある方はお願いします。

村上 淑子委員： 全館とも事業数が膨大で、しかも成果をあげているということは大変なことだと思います。知人の話ですが、岩根西公民館の女性職員のにこやかな対応が嬉しかったと聞きました。利用者があってこそその事業の成功だと思います。たくさんの事業の成功を導くための対応を今後もお願いしたいと思います。

渡利 明委員： 公民館の事業数がたくさんあり、敬意を表します。公民館活動でまちづくりを行っています。自治会と公民館の繋がりがまだまだつながりはない。まちづくりは、自治会と公民館が基本となっているだろう。メンバーはどうなっているか、サークルが入ることでごちゃまぜにならないか。

山田 治子委員長： まちづくり協議会を行っている富来田公民館はどうですか。

星野公民館長(富来田)： 富来田はもともと区長会とのパイプがあり、富来田地区振興対策協議会が、コスモスフェスティバルなどの具体的なことはやっていました。それが、まちづくり協議会の会長が富来田地区の会長で、区長会、いろいろな団体の上にまちづくり協議会がある。納涼大会、コスモスフェスティバル、来年度予定の50周年記念事業は、まちづくり協議会が音頭をとっています。

渡利 明 委員： 公民館は地区の拠点、連合会と公民館の密接な関係がないと、地域が盛り上がらない。このつながりを進めたい。自治会と公民館の繋がりがあまりないように思います。地域の盛り上げに欠けているものは何か。

石井公民館長(中央)： 公民館の目的は、地域の課題を解決するための地域づくりや支援、学びの場をつくることです。それぞれの公民館において、主役は地域の方々、公民館は地域の方々の活動を支える形で活動しており、今後も更に地域に密着した事業を展開してまいりたいと考えます。

山田 治子委員長： 地域あつての公民館、公民館あつての地域です。

古藤田 憲之委員： まちづくり協議会は公民館ごとにつくられます。まちづくり協議会のないところは、組織のバランスがとれないので、まちづくり協議会ができていないのでないでしょうか。課題について報告していただきたいのですが。

江野澤公民館長(岩根)： 岩根地区では、平成27年にまちづくり協議会を立ち上げました。青木委員が、区長会、連合会長を務められており、青木委員から申し出がありました。地域の主な方を集めて立ち上げ丁寧に対応し、総会で承認されました。地域の課題を何でもやろうとするのは難しいし、早急に進めてもまとまりません。方向を絞りながら近々の課題から進めています。去年は自主防災について取り組みました。

石井公民館長(中央)： 中央のエリアは、まちづくり協議会は立ち上がっていません。今、市民講座で防災と地域コミュニティーを考えています。防災を学び、自分達で何ができるか考えていく、民生委員や各種団体と連携して自分達でまちづくり協議会をやってみようという気持ちを育てる事業展開をしているところです。

山田 治子委員長： 公民館長をはじめ職員の皆様におかれましては、大変ご苦労さまでした。それぞれの地域の実情や地域住民のニーズに応じて、地域の課題や住民の生きがいがいづくりに対応した事業を、住民とともに実施されていることに敬意を表します。

これからも、公民館が市民から期待され、地域の拠り所であり続けるために、様々な団体・組織、他の行政分野などとの連携を一層深めながら、地域に密着した事業が

ますます充実・発展していくことを期待しております。

それでは、議案第1号につきましては了承されたものといたします。

以上で、議案に関する議事を終了し議案は承認といたします。

休憩 ここで15分間休憩

<報告事項 (1) 公民館使用料見直しの検討について>

山田 治子委員長： 報告事項「公民館使用料見直しの検討について」ですが、公運審としては、12月に教育長へ要望書を提出し、公民館の使用を原則無料の要望をいたしました。その後、教育長の諮問機関である社会教育委員会議で1月16日に臨時会議、3月16日に第4回定例会が開催されています。この会議に公運審からは青木副委員長が出席されていますので、会議の内容について報告をいただきたいと思います。青木副委員長よろしくお願ひします。

青木 健副委員長： 3月16日に社会教育委員会議から教育委員会に「公民館使用料の今後のあり方について(建議)」を提出いたしました。読み上げたいと思います。

社会教育委員会議「公民館使用料の今後のあり方について(建議)」を読み上げる

16日の会議では、大半が使用料の有料化はやむなしと有料化に賛成はしましたが、公民館に対する社会教育委員の思いがこめられた建議となっています。

山田 治子委員長： 報告の中で確認したいことなどはありますか。

清水 正夫委員： 有料化はやむなしという意見でありましたが、現行の公民館の配置について、17館を維持していくために、有料化するということだと理解していますが、一方で公民館の再配置も計画されています。公民館を旧行政区の8地区を基本に統合を進めていく方向だということですが、その場合にも有料は継続なのでしょう。公民館が減っても有料化が続くのか確認したいです。また料金については減免措置などがあると思いますが、1回使うのに500円としたときに、年間の収入が2,500万円になるという試算がありますね。いずれにしても額としてはそんなに大きくないと考えます。20年間使っても約5億円にしかありません。それらを考慮すると、有料化するよりも、個人的には無料の方が好ましいと思います。ここは何とか無料を堅持していきたいです。

安藤 清康委員： 今の報告は社会教育委員会の席での建議ですね。公運審としては教育長に要望書を提出しました。これら二つの関係はどのように考えればよろしいですか。

石井中央公民館長： 昨年の12月に公運審から要望書が提出されましたが、教育委員会としては、この要望書、岩根公民館および畑沢公民館のサークル連絡協議会からの要望書、社会教育委員会議の建議を踏まえ、見直しの方向性を総合的に判断していくこととなります。現在においては、使用料について検討しているという段階です。

安藤 清康委員： この建議はあくまでも社会教育委員会議の内容で、公運審の要望書の意見とは関係がないということによろしいですか。

石井公民館長(中央)： あくまでも最終決定は教育委員会がいたします。公運審からは原則無料の要望書が提出され、社会教育委員会議からは有料化もやむを得ないという建議、サークル連絡協議会からの要望書など、これらを考慮し最終判断をします。

安藤 清康委員： 要望書に対する回答は文書でなされるのでしょうか。

石井公民館長(中央)： そう考えていただいて結構だと思います。ここで要望書、意見書、建議を踏まえ、検討がなされています。今年度3月中には方向性が決定されます。来年度、公運審のメンバーも新しくなりますので、また協議が始まります。建議は有料化もやむなしという意見ですが、その中にも様々な条件をつけています。利用料は目に見える形で公民館に還元できればとの意見だと思います。また、有料になる場合には、料金設定、減免免除について基準を考えなければなりません。基準を決める際には、関係者から意見を聞く機会もあるでしょう。有料化について検討している最中ですが、次年度1回目の公運審で再び協議をしていただく流れになると思います。補足ですが、公民館の再配置と有料化の問題は別問題だと捉えていただきたいです。

清水 正夫委員： 再配置計画では、旧行政地区に公民館の数を割り当てることになっていますが、例えば有料化になった後、旧行政地区に縮小されても公民館の使用料は有料のままですよね。

石井公民館長(中央)： 使用料が一度有料になれば、無料に戻るということは難しいと考えられます。

渡利 明 委員： 公運審として使用料は原則無料を希望するという要望書を提出しましたが、この内容を再検討するというにはなりませんか。

石井公民館長(中央)： 教育委員会は、公運審の要望書や社会教育委員の建議等を踏まえ、方向性を出します。その方向性に対して意見を求められるということはないと思います。社会教育委員の建議には有料化の内容について「関係者から意見を聞くことを切望いたします」と書いてあるので、例えば、減免の基準などについて公運審の委員が意見をすることは可能だと思います。

渡利 明 委員： 今まで協議された要望書、建議書などは、利用している全ての意見が反映されているわけではありません。だから、今後も様々な立場の意見があるでしょう。

鶴岡 俊之委員： 公民館や利用者と直接触れ合っている委員の皆様と労力と時間をかけて、公運審として要望書を提出しました。この無料の原則を希望するという意見を曲げることなく持ち続けたいです。社会教育委員は 180 度違う見解ですが、我々の意見は大事に持っていたいです。個人的には、社会教育委員会議の建議は残念だと思います。公民館は地域の高齢者の方が多く利用しています。現場に近い意見を持つことは大切です。今後の判断がどうなるかは分かりませんが、あくまで公運審としては無料の原則を貫くという立場を表明していきたいです。公民館を利用する者とする、公民館の数を減らす方向性なのに、その前に有料化になってしまうのなら、無料を継続してほしいです。有料にするならば、公民館を再配置したあとにしてほしいと、個人的には思います。

<報告事項 (2)公共施設再配置計画について>

山田 治子委員長： 報告事項「公共施設再配置計画について」ですが、公共施設再配置計画が意見公募を経て2月に策定されました。また、本日から意見公募で市民が提出した意見と回答が公表されましたので、このことについて石井館長から説明をお願いします。

石井公民館長(中央)： 「木更津市公共施設再配置計画(素案)に対する意見と市の考え方」の資料をご覧ください。まず、25人から69件の意見がありました。そしてNo.30~61が公民館に関する意見です。パブリックコメントの約半分近い意見は公民館について出されています。No.30、33は旧行政区に公民館を集約することに対する意見です。No.31、32は公民館とその他施設との複合化について述べられています。複合化については、市は積極的に検討したいという回答です。No.34は公民館の重要性を説く意見です。今後も継続して利用したい、と述べられています。それに対する市の回答は、公民館は絆とコミュニティの形成拠点として機能を維持する、というものです。No.35~40は34の回答と同じです。No.43~46は、中央公民館について、仮移転のことが述べられています。その他、No.53は岩根公民館のことが挙げられています。意見は、大まかに、公民館の今後の公民館のあり方や複合化、公民館の重要性、中央公民館の仮移転等に関するものに分けられます。公共施設再配置計画は、今後30年間の計画です。また、実行プランを5年おきに作っていきます。次年度からの5年間では、中央公民館のあり方などが問題となってくると思われます。この公共施設再配置計画は、市民に対する説明会を実施せずに策定されていますが、今後の実行プランについては説明会も行いながら進めていくと聞いています。このパブリックコメントの回答は木更津市のHPに公表されています。

山田 治子委員長： パブリックコメントの半分が公民館に関係する意見ということで、関心の高さが伺えます。これからの5年間の中で、公民館のあり方をさらに考え、検討していく必要が公運審としてはあります。

山田 治子委員長： 続いて、各種選出委員からの活動報告に移ります。

(3) 各種選出委員からの活動報告

・木更津市生涯学習推進協議会

古藤田委員より2回目の会議がまだなので、報告事項はなし。

・木更津市社会教育委員会

青木副委員長より、3月16日(木)に「仮称 金田地域交流センター」の建物についての説明がされ、平成31年の完成予定であることが報告された。また、2月4日には金田地域の方に「仮称金田地域交流センター」についての説明会を開催したとも報告された。

説明会に参加した元木委員も続いて報告した。2月上旬建物の説明を荒井設計よりされ市民化業務のスペースは確保されているが、公民館としての機能があるか疑問視される報告があった。

石井中央公民館長からは教育委員会としては金田地域交流センターを公民館として位置づけることが重要であることや、生涯学習を担う公民館機能を有する地域交流センターであるので、公民館として位置づけられていくものと理解しているとの説明があった。また、金田というエリアに公民館という教育機関を今までどおり設置し、教育委員会として地域社会に責任を持って、家庭教育や子供の事業など、社会教育事業を展開していく必要がある旨、説明があった。

・木更津市図書館協議会

本多委員が当日欠席のため、事務局より報告する。渡邊図書館長より紙面での内容を代読。図書館の予約をパソコンやスマホを使って行えること、今年度の様々な催し事業、オーガニックフェスティバルに参加し図書館事業への理解が深められたこと、今後は公民館と連携して図書の充実を図ることを報告した。

・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会

山田委員長より、1月20日の袖ヶ浦市民会館での講演会、2月19日の柏県民プラザでの「おやじノバージョン」の取り組みについての報告があった。

・君津地方公民館連絡協議会

西嶋畑沢公民館長より、「ちばけん公民館スタッフニュース」の配布について説明。

(4) その他

- ・ 今期委員退任者の紹介と挨拶
- ・ 事務局より平成29年度の第1回公民館運営審議会は5月11日（木）に開催する旨を伝え
た。

石井中央公民館長より挨拶

事務局： 以上をもちまして、議事が終了いたしました。

鶴岡 俊之副委員長： 全ての議事が終了いたしましたので、木更津市立公民館運営審議会第4回定例会を
終了します。

平成29年3月23日

議事録署名人 木更津市立公民館運営審議会
委員長 山田 治子